

今年度の健康づくり事業について

今年度健康企画課では、市民が身近なスマートフォンを活用して健康管理ができる環境づくりを推進するため、下記の事業を展開している。

1. 健活チャレンジ事業

H30 年度に 0 次予防コホート事業の一環として市と京都大学が行った「IoT 等活用生活習慣病行動変容研究事業」にて、自分の体を自分で継続的に測定・管理することにより、体重減少に一定の効果がみられた。

市では、京都大学との共同事業として市民へ IoT 対応の健康機器を無料で貸し出し、スマートフォンで健康管理ができるよう支援している。

■開始時期：令和元年 6 月 7 日（5 月 19 日より市民へ事業啓発）

■周知方法：広報、ホームページ、チラシ配布、事業所研修会などでの紹介

■実績：延 41 名の市民が利用中（8 月 28 日時点）【目標：年度末 延 100 名の利用】



2. 健康推進アプリ「BIWATEKU（ビワテク）」のダウンロード推進

今年度からは、県民の健康づくりの推進を図るため県内の各保険者、自治体などが一緒になって取り組んでいるビワテクアプリを活用した健康づくりを進めていく。

本アプリは自分の体重や歩数の管理、設定されたウォーキングコースの完歩やイベント参加など楽しく健康管理ができるもので、スマートフォンさえあれば誰でも活用できる。

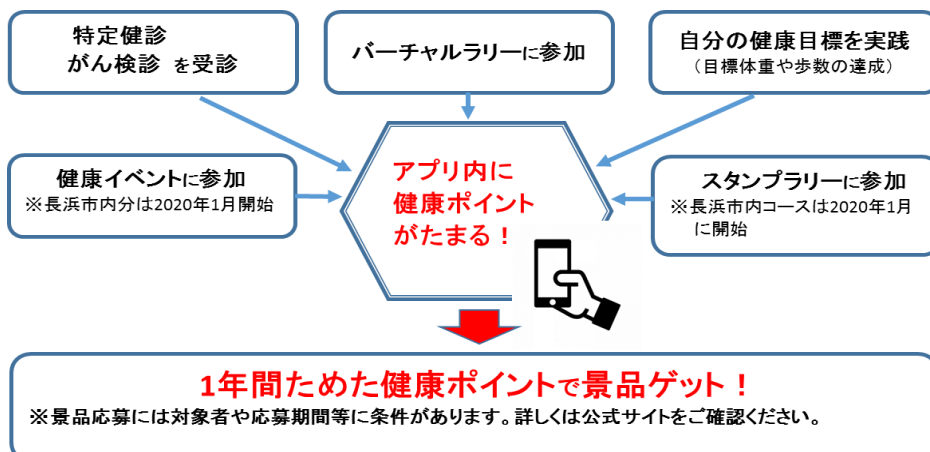
また、日々の健康管理がポイントとなり、そのポイントで協賛企業が提供した景品に応募することができる。

■開始時期：令和元年 5 月 23 日より市民へダウンロード啓発

■周知方法：広報、ホームページ、説明会、事業所研修会、企業訪問、新聞広告、新聞掲載

■ダウンロード：7 月末 350 人ダウンロード【目標：年度末 840 名】※県内 17,000 人ダウンロード

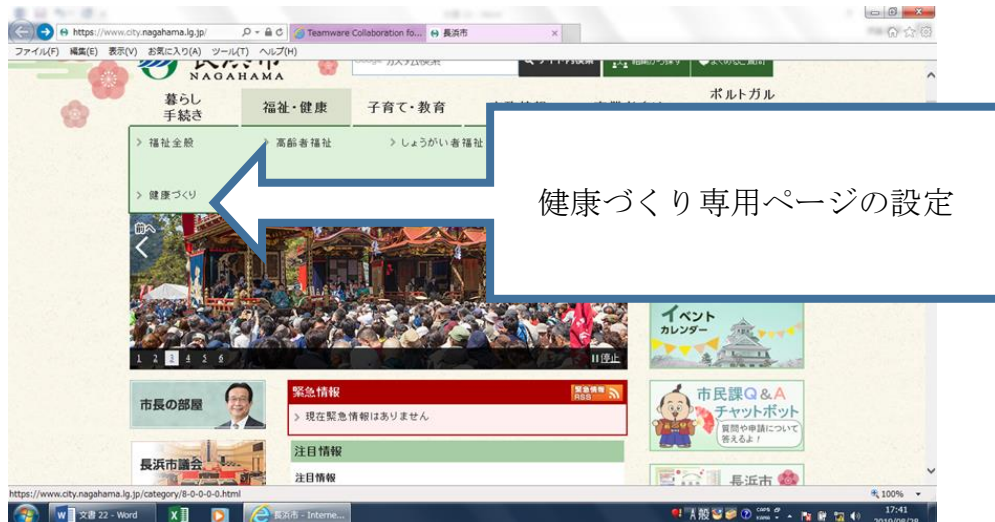
■その他：市内協賛企業の募集、健康ポイント対象のイベント・ウォーキングコース整理



3. 市民への健康づくり情報発信強化

市民が容易に健康情報を得ることができるよう、市ホームページに健康づくり応援ページを作成。市内の健康づくりイベント情報、市の健康づくり事業情報、健康都市宣言等を取りまとめて掲載している。

(1) トップページ①：健康づくりを容易に検索しやすいよう設定の修正



(2) トップページ②：バナーの設定



(3) 応援ページ画面（市内イベント情報、健康づくり情報など掲載）

